

認知症の人を支援する ガイドブック

認知症ケアパス



令和2年 10月改訂版

鹿児島県 垂水市

認知症で大切な3つのポイント

ひとつ 認知症になっても、住み慣れたところで生活は続けられます

ひとつ 早めに病院に行き、相談することがとても大切です

ひとつ 相談する窓口はたくさんあります

もくじ

1	認知症ケアパスとは 認知症ケアパスのイメージ図 P1
2	認知症の進行と主な症状は P2~3
3	認知症の進行に合わせて受けられる支援 P4~5
4	認知症の症状 P6
5	認知症の症状を知る P7
6	「もの忘れ」と「認知症」はちがう P8
7	認知症の診断・治療 P9
8	認知症早期発見の目安 P10
9	若年性認知症について P11
10	認知症予防と地域の支える力 P12
	① 認知症の予防	
	② 認知症を支える地域の力 認知症サポーター養成講座	
11	垂水市地域包括支援センター P13
12	認知症相談ができる医療機関 P14
13	県内の認知症疾患医療センター P15
14	垂水市の認知症カフェ P16
15	介護保険で利用できるサービス P17
16	垂水市内の介護保険事業所一覧 P18
17	介護保険外で利用できるサービス 垂水市の在宅福祉サービス その他 P19
18	もしもに備えて あんしんノート・緊急連絡カード P20

1 認知症ケアパスとは

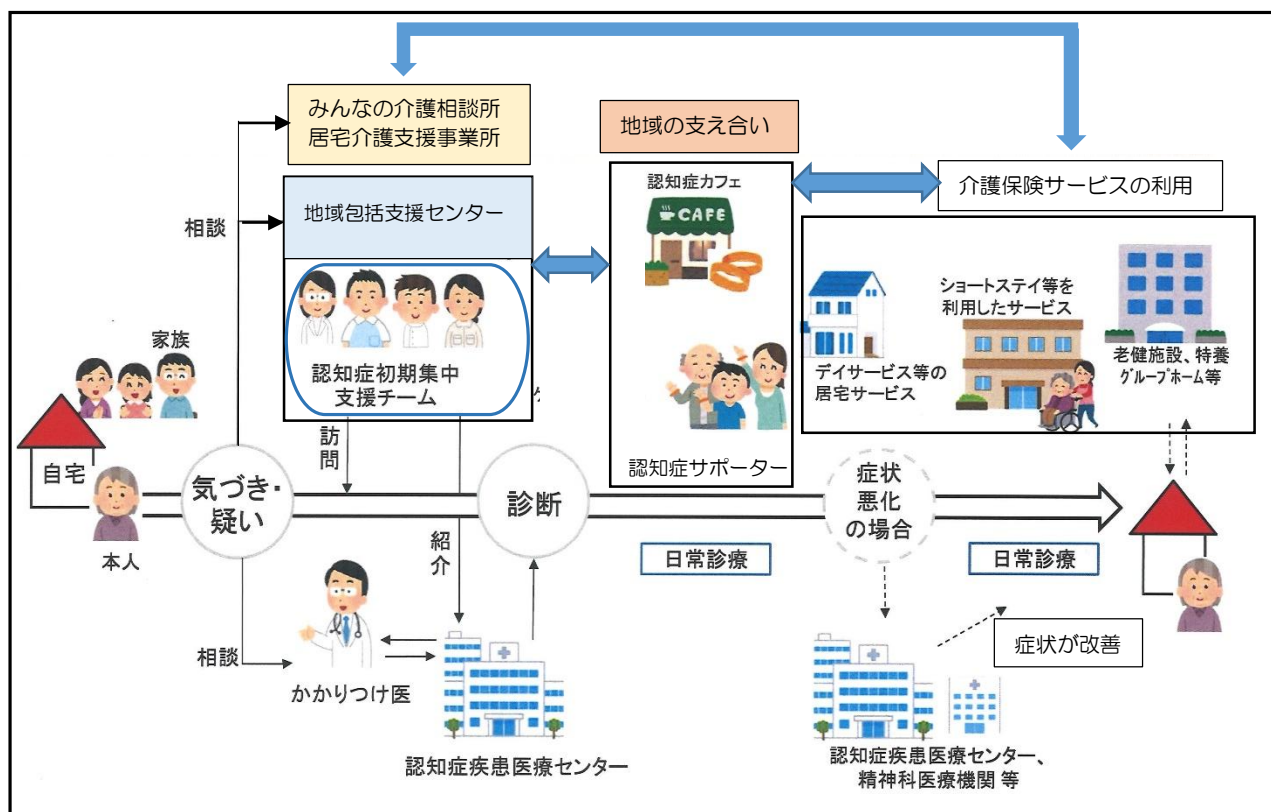
○ 認知症ケアパス

誰もが**認知症**になる**可能性**があります

「認知症ケアパス」とは、認知症かもしれないと不安に思っている方、認知症と診断された方とご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、認知症のことを知り、認知症に対する不安とご家族などの介護負担の軽減を図れるよう、認知症の症状とその対処法・支援体制などの情報をまとめたものです。

認知症ケアパスのイメージ図

下のイメージ図は、認知症の人とその家族などが、いつ・どこで・どのような支援を受ければよいかを理解できるよう、状態に応じた適切な医療や介護サービスの提供の流れを示したものです。



2 認知症の進行と主な症状は

認知症は徐々に進行し、症状が変化します。
 家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて
 上手に対応していくことが重要です。

代表的なアルツハイマー

	健常なレベル	軽度認知障害	発症
認知症の進行		○軽度認知障害（MCI） 認知症ではないが、認知症になる前の段階。認知症の初期症状とは異なる。 ○約5年で半数が認知症に	初期 日常生活には支障はあるが
本人の様子 の例		○もの忘れがあっても自立して生活ができる	○約束が思い出せない ○物事が覚えにくい ○やる気がでない ○物を盗まれたなどのトラブルが増える ○失敗を指摘すると怒り出すことがある
家族・周囲の心構え	○認知症の正しい知識や接し方などを学びましょう。 ○高齢者本人の思いや趣味を把握しておき、認知症になった時に、その人らしく生活していくために準備をしておきましょう。 ○生活上の支障が大きくなる前に、家族や地域の人達に見守りや声掛けのお願いをしておきましょう。		○家族間で今後の介護の事などを話し合っておきましょう。 ○専門医療機関の受診や介護サービスなどについて垂水市地域包括支援センターに相談しておくことが大切です。

認知症の人を介護している家族の気持ちを理解する

第1ステップ とまどい・否定	第2ステップ 混乱・怒り・拒絶
<ul style="list-style-type: none"> ・異常な言動にとまどい、否定しようとする。 ・ほかの家族にすら打ち明けられずに悩む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症への理解の不十分さから対応の仕方が分からず、混乱し些細なことに腹を立てたり叱ったりする。 ・心身共に疲労困憊し、拒絶感、絶望感に陥りやすいもっともつらい時期。

型認知症の進行例（発症から時間が経過し、進行している状態）

認 知 症

中 期

後 期

概ね自立している

日常生活に手助け・介護が必要

常に介護が必要

- 徘徊が多くなる
- 妄想が多くなる
- すぐ興奮する
- 着替えや食事、排せつがうまくいかなくなる
- ついさっきのことも忘れる
- 時間や場所がわからなくなる等

○介護する家族自身の健康管理に気をつけましょう。
○介護の負担が増えるため、困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや垂水市地域包括支援センターに相談して、各種サービスの利用を検討しましょう。

- 表情が乏しい
- 排せつの失敗が増える
- ほとんど寝たきりで意思の疎通が難しい
- 日常生活全般にいつも介護が必要
- 家族の顔や使い慣れた道具がわからない

○日常生活でできないこと（食事・排せつ・清潔を保つなど）が増え、合併症を起こしやすくなることを理解しておきましょう。
○どのような終末期を迎えるか家族間で話し合っておきましょう。

第3ステップ
割り切り

- ・怒ったり、イライラしても何もメリットはないと思い始め、割り切るようになる時期。
- ・症状は同じでも介護者にとって「問題」としては軽くなる。

第4ステップ
受容

- ・認知症に対する理解が深まって、認知症の人の心理を介護者自身が、考えなくてもわかるまでになる。
- ・認知症である家族のあるがままを受け入れられるようになる時期。

3 認知症の進行に合わせて受けられる支援

認知症の進行（右に行くほど発症から時間が経過し進行している状態）

	軽度認知障害（MCI）	初 期	中 期	後 期
	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している	買い物や事務、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	着替えや食事、トイレ等がうまくできない ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である
相 談	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター ・認知症初期集中支援チーム ・認知症地域支援推進員 ・みんなの介護相談所 ・居宅介護支援事業所 ・認知症疾患医療センター ・もの忘れ相談医 ・認知症の人と家族の会 			
認知症・介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業 ・訪問介護（社会福祉協議会） ・いきいきふれあいサロン（社会福祉協議会） ・通所介護（華厳園、ほほえみ、みらい、恵顔の泉） ・地域住民等の活動 		（介護保険制度） <ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーション（コスモス苑、絆） ・小規模多機能ホーム（ほほえみ、ひまわりの里、くぬきの里、恵典の泉） 	
早期発見 早期対応	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム 			

診断治療	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム ・もの忘れ相談医 ・かかりつけ医療機関 		
交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ ・介護予防、生活支援サービス事業 ・認知症の人と家族の会 ・いきいきふれあいサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ ・認知症の人と家族の会 ・介護保険制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度
生活支援 身体介護	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問給食サービス（福祉課） ・訪問介護（社会福祉協議会） ・通所介護（華厳園、ほほえみ、みらい、恵顔の泉） ・通所リハビリテーション（コスモス苑、絆） ・ショートステイ（コスモス苑、恵光園、絆） 		
安否確認 見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員 ・認知症サポーター ・SOSネットワーク（福祉課） ・緊急通報装置（福祉課） ・訪問給食サービス（福祉課） 		
医療 緊急時支援	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医 ・もの忘れの相談のできる医師 ・認知症サポート医 ・認知症専門病院 ・精神科医 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・垂水市地域包括支援センター ・認知症初期集中支援チーム ・認知症地域支援推進員 ・居宅介護支援事業所 ・認知症カフェ ・認知症の人や家族のための会 		
住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム（華厳園） ・有料老人ホーム ・住宅改修の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホーム ・住宅改修の補助 ・介護保険制度 	
権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度 ・消費生活相談 ・高齢者虐待の対応 ・権利擁護全般 		

4 認知症の症状

○ 認知症とは

脳は、私たちの活動をコントロールしている司令塔です。

脳がうまく働かなければ、精神活動も支障をきたします。

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活するうえで支障が概ね6か月以上継続している状態のことを言います。

認知症の疾患名	出現しやすい症状
アルツハイマー型	認知症の原因となる病気のうち、最も多いもので記憶の障害が目立ち、物を置き忘れたり、同じことを何度も言ったりする。自分が、物忘れをしていることに気づきにくい。
レビー小体型認知症	幻視や歩行障害が目立ち、周囲の状況をよく理解できる時と、できない時の差が激しい。特に、夕方から夜に悪くなることが多く、記憶は比較的保たれる。
前頭・側頭型認知症	いろいろなことを我慢できず、問題となりうる行動を起こしてしまい、同じことをし続けることもある。
脳血管性認知症	脳梗塞や脳出血によって起こり、症状は脳のどの部分がどのような損傷があったかによって異なる。 手足の麻痺や構音障害、飲込み障害、感覚障害などの神経症状を伴いやすい。

【正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫などの場合】

手術などの脳外科的な処置で劇的に良くなる場合もあります。

【甲状腺ホルモン異常の場合】

内服など内科的な治療で良くなります。副作用など、薬の使用が原因で認知症のような症状が出た場合は、主治医と相談のうえで薬をやめるか調整することもあります。

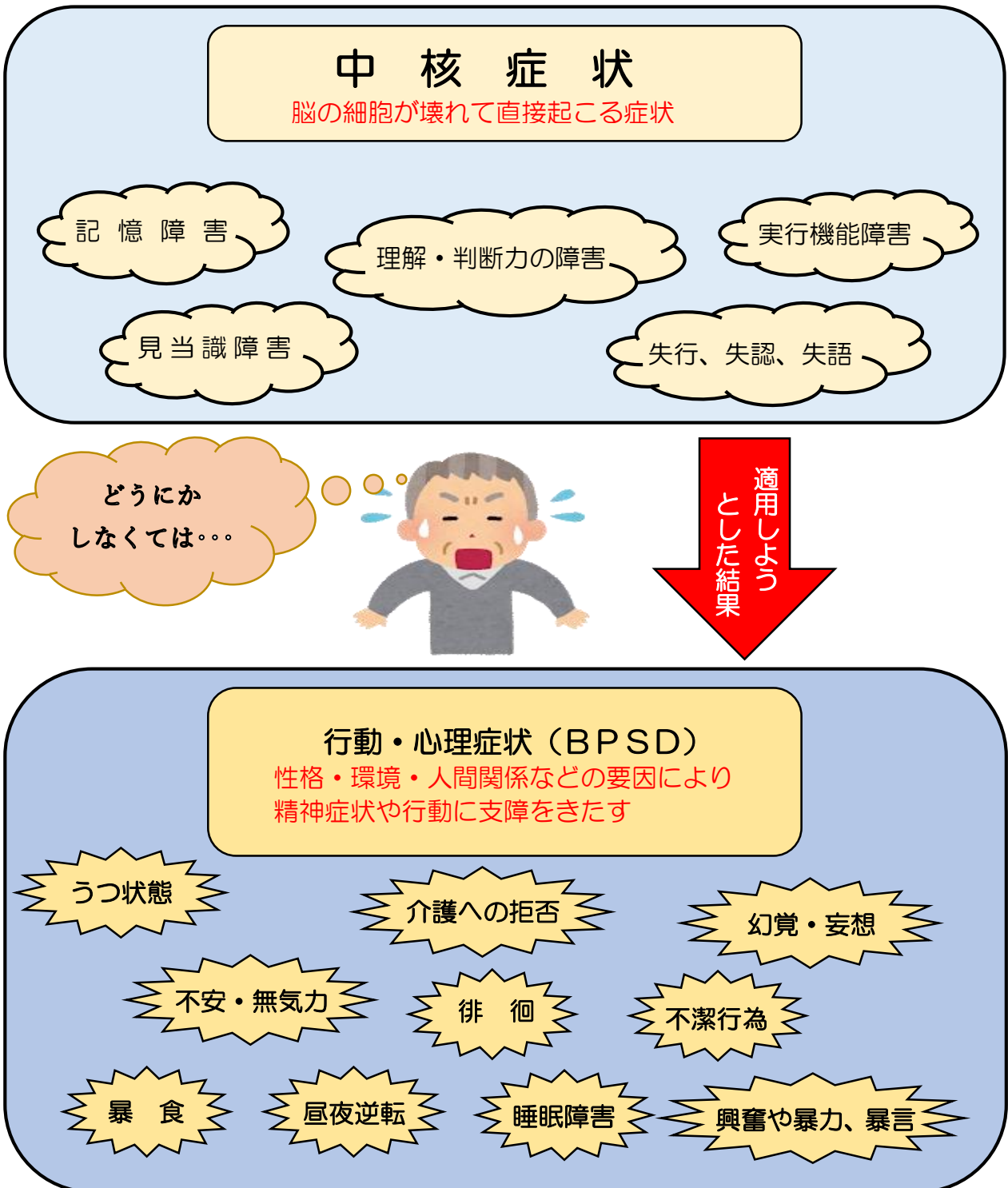
このような病気は、そのまま放置しておけば、脳の細胞が死んだり、恒久的な機能不全になり、回復が難しくなります。

一日も早く受診することが重要です。

5 認知症の症状を知る

○ 認知症の症状を知る

認知症の症状は、記憶障害を中心とした「中核症状」とそこに本人の性格や環境の変化などが加わって起こる「周辺症状」とがあります。



6 「もの忘れ」と「認知症」はちがう

○ 認知症と脳の老化はちがう

高齢になれば誰でも物忘れが多くなりますが、認知症の場合、記憶が全部抜けてしまうので、本人には忘れたという自覚がありません。

朝食を食べても、食べたこと自体忘れてしまうため本人は本当に食べていないと思っています。



もの忘れの場合

もの忘れを自覚できる

出来事の一部が消える

ヒントをもらえば思い出せる

日付や曜日を間違えることがある

日常生活に
大きな支障はない

認知症の場合

忘れたという自覚がない

出来事の記憶が全部消える

ヒントをもらってもピンとこない

日付や曜日、季節がわからなくなる

日常生活に支障をきたす

7 認知症の診断・治療

早期発見、早期受診・診断、早期治療が大切です

認知症の早期発見、早期受診・診断、早期治療は、その後の認知症の人の生活を大きく左右する非常に重要なことです。認知症は、「どうせ治らないから医療機関にかかっても仕方がない」という誤った考え方はやめましょう。

初期は専門の医療機関の受診が不可欠

認知症の診断は初期ほど難しく、熟練した技術と高度な検査機器を要する検査が必要となります。



受診の内容

CT、MRI、脳血流検査などの画像検査、記憶、知能などに関する心理検査に加え、認知症のような症状を引き起こす身体の病気ではないことを確認する検査です。

早期に受診するメリット

- 病気が理解できる時点で受診し、少しずつ理解を深めていけば、生活する上での障害を軽減でき、その後のトラブルを減らすことも可能です。
- 障害の軽いうちに、重くなった時の後見人を決めておく（任意後見人制度）等の準備をしておけば、認知症であっても自分が願う生き方を選択することができます。

認知症の治療

アルツハイマー病の場合

早期ほど、薬で進行を遅らせることができます。初期から使い始めると健康な時間を長くすることも可能になります。

脳血管性認知症の場合

薬や身体活動を高めるリハビリテーションの他、脳血管性認知症の原因である脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患予防として、高血圧や糖尿病などの生活習慣病を改善することで予防が可能になります。

8 認知症早期発見の目安

「公益社団法人認知症の人と家族の会」の会員の経験からまとめたものです。
いくつか該当することがあれば、**早めに専門家に相談することをお勧めします。**

● 物忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる。
- 同じことを何度も言う・問う・する。
- しまい忘れや置忘れが増え、いつも探し物をしている。
- 財布や通帳、衣類など盗まれたと人を疑う。



● 判断・理解力が衰える

- 料理や片付け、計算、運転などのミスが多くなった。
- 新しいことが覚えられない。
- 話のつじつまが合わない。
- テレビ番組の内容が理解できなくなった。



● 時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- 慣れた道でも迷うことがある。

● 人柄が変わった

- ささいなことで怒りっぽくなった。
- 周りへの気遣いがなくなり、頑固になった。
- 自分の失敗を人のせいにする。
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた。



● 不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする。
- 外出時、持ち物を何度も確かめる。
- 「頭が変になった」と本人が訴える。

● 意欲がなくなる

- 下着を着替えず、身だしなみを構わなくなった。
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。
- ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる。



出典／公益社団法人認知症の人と家族の会から

9 若年性認知症について

若年性認知症とは、**65歳未満**で発症した場合を言います。

社会や家庭で重要な役割を担っている働き盛りでの発症のため、仕事や家事に支障をきたすなど、高齢者が認知症を発症した場合とは異なる経済上・日常生活上の問題が生じます。

このようなサインは、認知症の可能性ががあります

職場での変化

- 作業に手間取ったりミスが目立つようになったりする。
- 職場の仲間や取引先の相手の名前が思い出せなくなる。
- 指示されたことが理解できなくなる。
- 段取りが悪くなり、優先順位がわからなくなる。
- 約束を忘れたり、物忘れが増えてくる。



生活の変化

- 財布や鍵をどこに置いたかわからなくなる。
- お金の計算や漢字の読み方がわからなくなる。
- 車の運転が適切にできなくなる。
- 知っているはずの場所で道に迷うことがある。
- 身だしなみを気にしなくなる。



治療により改善する場合

慢性硬膜下血腫や脳腫瘍などの外科的疾患やビタミン欠乏症など内科的疾患による認知機能低下の場合は、治療により症状が改善する場合があります。

若年性認知症と診断されたら

鹿児島県では、認知症の人と家族の会鹿児島県支部に**若年性認知症コーディネーター**が配置され、様々な相談に対応しています。

若年性認知症相談窓口

公益財団法人 認知症の人と家族の会 ☎ 099-251-4010

鹿児島市鴨池新町 1 番 7 号

時間 10 時～16 時(月～金)

10 認知症の予防と地域の支える力

認知症施策大綱における「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

① 認知症の予防

認知症になりにくい生活習慣を身に付け、継続していくことで、発症を遅らせることが可能な場合があります。

認知症（アルツハイマー型）になりにくい生活習慣

- 家事や運動、地域行事に参加し、積極的に体を動かしましょう。
- 栄養バランスの取れた食事をよく噛んで食べるようにしましょう。
- 食事や睡眠時間など規則正しい生活を心がけましょう。

特に、有酸素運動は、体に多くの酸素を取り込みながら行う運動で、認知機能の低下を抑え、認知症を予防する効果が期待できます。代表的なものがウォーキングです。

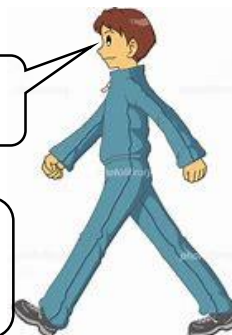
ウォーキング

運動としてのウォーキングは、1歩1歩意識して、やや大股でかかとから着地し、つま先で蹴り出すようにして歩きます。

今まで運動をあまりしてこなかった人でも気軽に始められます。まずは、15分くらいを目安に歩いてみましょう。

目線は10mほど先を見る

ひざはのばしてかかとから着地する



② 認知症を支える地域の力

認知症患者とその家族介護者が、安心して住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域全体で支えていくことが重要です。

そのためには、地域において広く認知症に対する正しい知識を学び、温かく見守っていくことが必要です。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることがスタートです。「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症に人やその家族の「応援者」です。

垂水市では、「認知症サポーター」を養成しています。

お問い合わせは、垂水市地域包括支援センターまで
(P13 ページを参照)

11 垂水市地域包括支援センター

垂水市地域包括支援センターは、介護や福祉などに関する地域の総合窓口です。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できることを目指し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等の専門職が常駐しており、認知症相談の他、医療・介護・暮らしの困りごとに対応していますので、**お気軽にご相談ください。**

認知症の方への支援

● 認知症地域支援推進員

認知症推進員とは、認知症医療疾患センターや医療・介護など関係機関と連携し、認知症の人の状態に応じた支援を行う相談員です。

● 認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が、認知症を疑われる人、認知症の人やその家族を訪問し、必要に応じて専門医による鑑別診断等を行い、本人や家族に対し、初期の支援を包括的かつ集中的にサポートします。

認知症以外にも下記の業務に取り組んでいます。

● 総合相談支援業務

生活をしている中で、様々な困りごとの相談に対し、必要に応じて適切な支援を実施する関係機関につなぎます。

● 権利擁護業務

「お金の管理が思うようにできない」など判断能力が低下した方への支援や悪質な訪問販売による消費者被害、高齢者虐待等の相談業務

● 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らせるために、医療機関を含めた関係機関との連携体制づくりやケアマネジャーに対する支援を行います。

● 介護予防ケアマネジメント

適正な介護サービス提供ができるよう本人や家族の希望、生活状態などを踏まえてケアプランを作成するなど、可能な限り自立した生活が送れるようサポートします。

垂水市地域包括支援センター

☎0994-32-5111

12 認知症相談ができる医療機関

少しでも早く病院を受診することをお勧めします。早いうちに受診するメリットは、治る認知症もあるということです。

市町名	医療機関名	物忘れ 相談医	認知症サ ポート医	専門医	電 話 番 号
垂水市	池田温泉クリニック	○			0994-32-6161
	東内科小児科クリニック	○			0994-32-5522
	よしとみクリニック	○	○	○	0994-45-4215
	介護老人保健施設コスモス苑	○			0994-32-5200
鹿屋市	小浜クリニック	○			0994-58-6025
	鹿屋在宅支援診療所		○		0994-45-5844
	徳田脳神経外科病院	○	○		0994-44-1119
	井ノ上病院	○			0994-42-5275
	おぐら病院	○			0994-44-7171
	かのや東病院	○	○		0994-42-3111
	田村脳神経外科クリニック	○	○		0994-41-7100
	特養 みどりの園		○		099-485-1902
	せぐち整形外科	○			0994-40-9200
	みどり明星クリニック	○			099-485-1911
	いしかわ耳鼻咽喉科	○			0994-43-3387
	鮫島整形外科	○			0994-43-2535
	児玉上前共立クリニック	○			0994-43-2510
	池田病院		○		0994-43-3434
	大隅鹿屋病院		○		0994-40-1111
	まちのお医者さん	○	○		0994-40-7801
	メンタルホスピタル鹿屋	○	○		0994-42-3155
	中塩医院	○			0994-43-2489
	西原保養院	○			0994-43-1783
	的場クリニック	○			0994-45-7282
桜ヶ丘病院	○			0994-44-8686	
星塚敬愛園	○			0994-49-2500	
東串良町	児玉医院		○		0994-63-8522
錦江町	大根占医院	○			0994-22-2658
	肝属郡医師会立病院	○	○		0994-22-3111
	長浜医院		○		0994-22-0137
肝付町	介護老人保健施設 老春苑	○			0994-65-1500
	高山胃腸科外科	○			0994-65-7671
	吉重クリニック		○		0994-67-2666
	山内クリニック	○	○		0994-65-8181
南大隅町	じょうさいクリニック	○			0994-24-2977

13 県内の認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターは、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断（症状にかかる原因等を究明するために実施する検査・専門医の診察）、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施しています。

また、地域保健医療・介護関係者への研修等も行っており、地域において進行予防から地域生活の維持まで必要となる医療を提供する機能を有しています。

医療機関名	住 所	電話番号
谷山病院	鹿児島市小原町 8 番 1 号	099-269-4119
パールランド病院	鹿児島市犬迫町 2253 番地	099-238-0168
ウエルフェア九州病院	枕崎市白沢北町 191 番地	0993-72-4747
宮之城病院	薩摩郡さつま町船木 34 番地	0996-53-1005
荘記念病院	出水市高尾野町下水流 862 番地 1	0996-82-2955
松下病院	霧島市隼人町真孝 998 番地	0995-42-8558
あいらの森ホスピタル	始良郡湧水町北方 1854 番地	0995-74-1140
病院芳春苑	志布志市志布志安楽 3008 番地 5	099-472-0035
メンタルホスピタル鹿屋	鹿屋市田崎町 1043 番地 1	0994-36-1870
せいざん病院	西之表市住吉 3363 番地 2	0997-28-3771
奄美病院	奄美市名瀬浜里町 170 番地	0997-52-0034

主な業務内容

- (1) 認知症疾患に関する専門医療相談
- (2) 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- (3) 合併症・周辺症状への急性期対応
- (4) かかりつけ医等への研修会の開催
- (5) 認知症疾患医療連携協議会の開催
- (6) 情報発信



14 垂水市の認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人やその家族、各専門家や地域住民が集う場として提供され、お互いの悩みや不安を語り合い情報交換の場として、毎月開催しています。

どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。（休日や会場の都合で日程変更する場合がありますので各事業所にお問い合わせください。）

カフェ名	開催日	時間	場所	連絡先	住所
ちゃのんけ	第2木曜日	14:00～ 15:00	グループホーム たるみず太陽の家	0994 32-5030	垂水市浜平 2198番地6
なぎさカフェ	第3火曜日	14:30～ 15:30	グループホーム ゆうきのなぎさ	0994 36-2100	垂水市二川 945番地1
いずみカフェ	第3木曜日	14:00～ 15:00	小規模多機能ホーム 恵典の泉	0994 34-3511	垂水市新城 732番地1
さくらカフェ	第3土曜日	14:00～ 15:00	グループホーム さくらの里	0994 32-1881	垂水市中央町 37番地2
オレンジカフェ	第4水曜日	10:00～ 11:30	垂水市市民館	※0994 32-5111	垂水市旭町 61番地2
ほほえみカフェ	第4木曜日	14:00～ 15:00	小規模多機能ホーム ほほえみ	0994 32-5708	垂水市海湯 502番地1

※オレンジカフェの場所は、垂水市市民館ですが、連絡先は垂水市地域包括支援センターです。



15 介護保険で利用できるサービス

○在宅・施設・地域密着型サービス

介護サービスについては、**事業対象者、要支援、要介護の認定が必要です。**

	サービス名称	サービスの主な内容
在宅サービス	訪問介護	訪問介護員（介護福祉士、ホームヘルパー）が訪問し、身体介護や調理などの生活援助を行います。
	訪問看護	看護師等が訪問し、療養の支援や診療補助を行います。 （医療依存度が高い場合には、医療保険の対象）
	訪問入浴介護	看護師や介護職員が入浴等で訪問し、入浴介助・支援を行います。
	訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士が訪問し、機能回復訓練を行います。
	居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが居宅を訪問し、療養上の管理や指導を行います。
	通所介護	デイサービスセンター等において、日帰りで入浴・食事の提供とその介助、日常生活の支援と機能訓練を行います。
	通所リハビリテーション	日帰りで、理学療法・作業療法等の必要なリハビリテーションを行います。
	短期入所生活介護 （ショートステイ）	家族が病気や休暇などで一時的に介護ができない時など短期間の入所で入浴・食事の提供とその介助、日常生活の支援等を行います。
	短期入所療養介護 （ショートステイ）	老人保健施設等に短期入所して、看護・医療下における介護・機能訓練、その他必要な日常生活の支援等を行います。
	福祉用具貸与及び購入 住宅改修	介護ベッドや車いすなどの貸与及び入浴補助用具の購入、手すりの取り付け、段差解消の工事に係る支援を行います。
特定施設入居者生活介護	有料老人ホームやケアハウスなどで入浴・食事の提供とその介助、日常生活の支援等を行います。	
施設サービス	介護老人福祉施設	常時介護が必要で居宅の生活が難しい要介護者を対象に、介護サービスと日常生活の場を提供します。
	介護老人保健施設	入院治療の必要ない要介護者を対象に、介護、看護、リハビリ等を行います。（医療施設と福祉施設・在宅の中間施設）
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活の支援や機能訓練を行います。
	認知症対応型共同生活介護	比較的安定状態にある認知症要介護者を対象に、共同生活の中で、日常生活の支援を行います。
	地域密着型通所介護	通所介護施設で食事・入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を行います。

16 垂水市内の介護保険事業所一覧

	事業所の名称	所在地	電話番号
訪問介護	垂水市社会福祉協議会	垂水市田神 11 番地 1	0994-32-6277
訪問看護	肝属郡医師会立 訪問看護ステーション	垂水市錦江町 1 番地 140	0994-36-8990
通所介護	デイサービスみらい	垂水市田神 408 番地 1	0994-32-4888
	ほほえみデイサービスセンター	垂水市海湯 663 番地 3	0994-32-9255
	デイサービスセンター 垂水華厳園	垂水市錦江町 1 番地 226	0994-32-0114
	デイサービスセンター 恵顔の泉	垂水市新城 955 番地 2	0994-34-2300
通所 リハビリテ ーション	介護老人保健施設 コスモス苑	垂水市錦江町 1 番地 140	0994-32-5200
	介護老人保健施設 絆	垂水市田神 3536 番地 1	0994-32-6161
介護老人 福祉施設	特別養護老人ホーム 恵光園	垂水市本城 221 番地	0994-32-2851
介護老人 保健施設	介護老人保健施設 コスモス苑	垂水市錦江町 1 番地 140	0994-32-5200
	介護老人保健施設 絆	垂水市田神 3536 番地 1	0994-32-6161
認知症対 応型共同 生活介護	グループホーム さくらの里	垂水市中央町 37 番地 2	0994-32-1881
	グループホーム ひまわり苑	垂水市錦江町 1 番地 240	0994-32-6166
	グループホーム たるみず太陽の家	垂水市浜平 2189 番地 6	0994-32-5030
	グループホーム ゆうきのなぎさ	垂水市二川 945 番地 1	0994-36-2100
	グループホーム まごころ	垂水市錦江町 1 番地 238	0994-32-6676
	グループホーム ひいらぎ	垂水市柘原 625 番地 2	0994-35-3686
小規模多 機能型居 宅介護	小規模多機能ホーム ほほえみ	垂水市海湯 502 番地 1	0994-32-5708
	小規模多機能ホーム ひまわりの里	垂水市錦江町 1 番地 239	0994-32-6666
	小規模多機能ホーム くぬきの里	垂水市柘原 625 番地 1	0994-35-3636
	小規模多機能ホーム 恵典の泉	垂水市新城 732 番地 1	0994-34-3511

17 介護保険外で利用できるサービス

○垂水市の在宅福祉サービス

このサービスは、在宅で自立した生活に不安を持つ一人暮らしの高齢者などの生活を支援するためのものです。

訪問給食サービス事業

栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康を維持できるように支援します。

また、食事を配達することで安否確認も行います。

基本料金

1食	700円
----	------

緊急通報体制整備事業

慢性疾患等がある一人暮らしの虚弱高齢者に緊急通報装置を貸し出すことで、急病や災害などの緊急時に迅速かつ適切な対応を行います。

利用者負担

月額	300円
----	------

紙おむつ給付事業

在宅で寝たきりの高齢者や心身障害者で、常に紙おむつが必要な方に、紙おむつの現品給付を行い在宅介護者の負担軽減を図ります。

支給対象者1人に付き、毎月おむつを給付します。

在宅介護手当支給事業

対象となる高齢者の状態を4段階に分け、6か月以上在宅で高齢者を介護している家族に対し、労をねぎらうとともに親族のさらなる扶養意識の向上を図るために手当を支給します。

○その他

養護老人ホーム 垂水華厳園

家庭環境や経済状況などにより、自宅で生活することが困難な高齢者を対象に、住まいの確保として社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図ります。

住所 垂水市錦江町1番地226
電話 0994-32-0063

問い合わせ先

垂水市 福祉課
地域福祉係

0994-32-1115

18 もしもに備えて

○「あんしんノート」、「緊急連絡カード」

認知症と診断されたとき、家族や周囲の人も素直に受け入れられずに、とまどったり混乱したりします。

「あんしんノート」は、将来、自分自身が物事の理解や判断力などが衰えた場合や、突然の災害・災難の際の備えとして、自分が元気なうちに今の自分の気持ちを書きとめて、将来の選択に困らないように準備するためのものです。

どう生きるかを考え、自己選択・自己決定できる力を養い、又、大切な方とともに、あなたの将来のために語り合うきっかけづくりのためにもお使いください。

(詳しくは、下記の垂水市地域包括支援センターまで)

「緊急連絡カード」は、救急時や災害発生時に救急隊員や担当民生委員などへ、あなたに関する情報を直ちに伝えるためのものです。書いた後は冷蔵庫のドアなど目立つ場所に置いておきましょう。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

あんしんノート

はじめに

人は誰でも年をとると、個人差はありますが、物事の理解や判断力などがおとろえてしまって自分で自分に関することが、思うようにできないということが起こります。

また、災害や災難はとつぜんやってきます。そんな時、まわりの方は、あなたがどのようにしてほしいのかわからず困ってしまいます。

そこで、私たちは自分が元気なうちに、今の自分の気持ちを書きとめて、将来困らないように考えておくことがとても大切です。

書きかた

このノートの項目を全部書く必要はありません。今の自分が書けることだけでも書きとめておきましょう。

一人で書くのも良いですし、家族や知人等いろいろな方と一緒に作成すると意見交換ができ、楽しく、現実的になるかもしれません。

年 月 日 記入

名前 _____

垂水市・垂水市社会福祉協議会

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

緊急連絡カード

○緊急時や体調が悪い時は、早めに下へ連絡しましょう。

救急車・火事 119
警察 110

垂水幹部派出所	32-0110
牛根駐在所	36-2025
垂水南駐在所	35-2021

○悩み事、心配ごとの相談は

垂水市役所（代表）	32-1111
地域包括支援センター	32-5111
社会福祉協議会	32-6277

垂水市・垂水市社会福祉協議会

問い合わせ先：垂水市地域包括支援センター
☎0994-32-5111



認知症の人を支援するガイドブック

令和2年10月発行

発行／編集・垂水市役所 保健課 地域包括ケア係
・垂水市地域包括支援センター

〒891-2124

鹿児島県垂水市錦江町1番地140

TEL 0994-32-5111

FAX 0994-36-8642

I feel great in hot spring!

SAKURAJIMA

極楽〜♪

